平成 24 年 7 月 12 日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社 マ ル マ エ
代表者名　代表取締役社長　前田　俊一
（ コード番号：6264　東証マザーズ ）
問合せ先　取締役管理部長　藤山　敏久
（ TEL. 0996-64-2900 ）

平成 24 年６月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 24 年６月度月次受注残高情報を開示いたします。

記

１．月次受注残高　　（百万円未満切捨て）

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
ＦＰＤ分野	41	40.2%	△22.9%	△73.6%
半導体分野	26	25.8%	△14.6%	△25.3%
太陽電池分野	0	0.0%	―	―
その他	35	34.0%	1.6%	―
合計	103	100.0%	△13.6%	△46.9%

２．月次受注残高の推移　　（百万円未満切捨て）

区分	H23.7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
ＦＰＤ分野	188	159	168	113	71	51
半導体分野	28	34	21	46	35	35
太陽電池分野	0	0	0	1	0	0
その他	0	2	0	1	1	5
合計	217	196	191	162	109	92

区分	H24.1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
ＦＰＤ分野	44	16	26	41	53	41
半導体分野	31	39	34	26	31	26
太陽電池分野	0	0	0	0	0	0
その他	48	51	48	48	34	35
合計	123	107	109	116	119	103

３．月次受注残高の概況

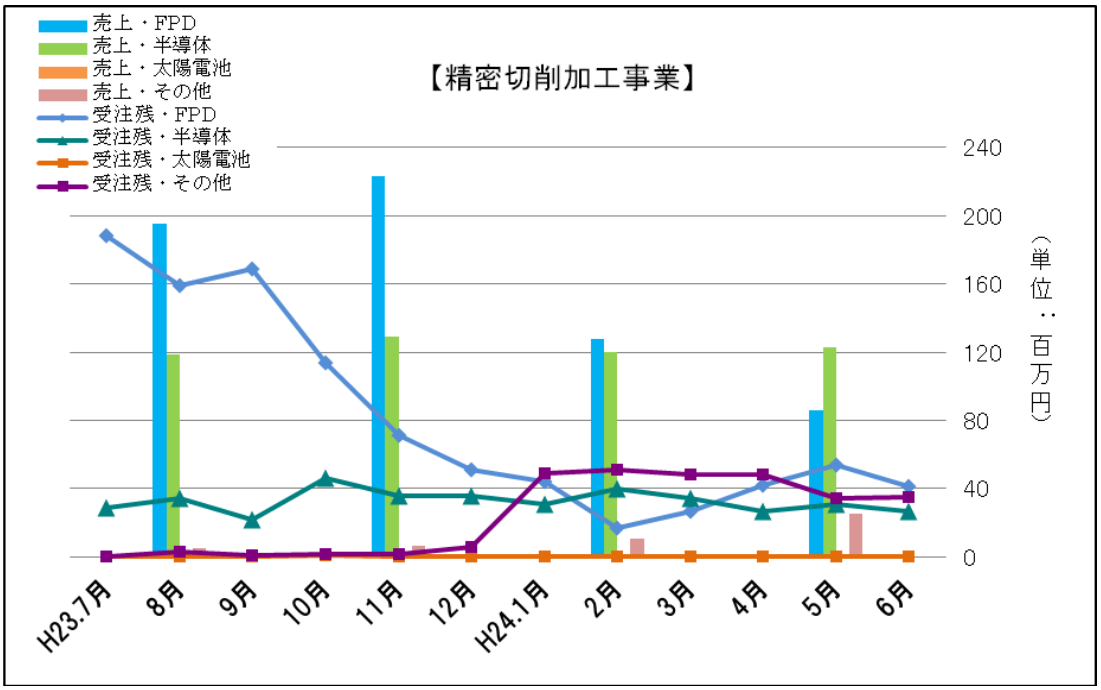
平成 24 年６月末の受注残高は、ＦＰＤ分野において受注及び出荷検収が低調に推移し、対前月増減率で 22.9%減、対前年同月増減率では 73.6%減の 41 百万円となりました。また、半導体分野においては、出荷検収は拡大しながらも受注が若干停滞した事から対前月増減率 14.6%減、対前年同月増減率 25.3%減の 26 百万円となりました。一方、その他分野においては新規の受注が横ばいで推移したことから、対前月増減率 1.6%増の 35 百万円となりました。なお、太陽電池分野の受注においては、大きな動きはありませんでした。これらの結果、平成 24 年６月末の受注残高は、対前月増減率 13.6%減、対前年同月増減率 46.9%減の 103 百万円となりました。

今後の受注見通しといたしまして、ＦＰＤ分野においては、中小型パネル向け設備投資が見込まれており、それに伴って当社受注も再拡大する見通しを持っております。半導体分野においては、市場の低迷が長引いておりますが、６月を境に回復傾向と思われます。また、当社では新規顧客の開拓と試作を続けており、市場の低迷に比べては増加傾向が続く見通しです。太陽電池分野においては、試作品の受注が続く見通しです。また、その他分野では、生産能力の余力を活用し受注の安定化を図っております。

全般的には、市場環境の停滞が続いておりますが、当社では社内生産力を試作品と短納期品に活用し、新規部品の受注拡大を図っております。また、社内生産力でまかなえない受注の拡大には協力企業との取引拡大で対応するなど、市場環境変動に影響されにくい構造改革に取り組んでおります。

以　　上

(参考：分野別　過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短いか当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。